

2020 年度（第 2 回）司法支援建築会議運営委員会 議事録

（記録：事務局）

日 時：2020年10月29日（木）14:00～15:15

場 所：304室およびオンライン（ハイブリッド）

出席者： 対面： 委員長 緑川光正

委 員 井上勝夫、苅谷邦彦、神田 孜

オンライン： 委 員 宇於崎勝也、大森文彦、加藤信介、鈴木秀三

（敬称略）

提出資料

- 資料1 第1回運営委員会議事録（案）（6月25日）
- 資料2 民事調停委員の候補者の推薦について（依頼および回答）
- 資料3 判決文、鑑定文書の開示要望について・民事局との打ち合わせ議事録
- 資料4 司法支援建築会議会報 No.19
- 資料5 建築紛争フォーラム テーマ一覧
- 資料6 建築紛争に関わる講演会「建築紛争の現状と課題」のテーマ一覧
- 資料7 名誉司法会員称号授与・功労者表彰・感謝状贈呈スケジュール
- 資料8 司法支援建築会議全体会議シンポジウムテーマ一覧
- 資料9 運営委員の委嘱・解嘱および入会、逝去
- 資料10 「司法支援建築会議」会員候補者の推薦依頼（2017年依頼の前例）

確認事項

1. 前回議事録(案)(6月25日)の確認

事務局から前回議事録案の確認があり了承された。

報告事項

1. 部会報告

〈支援部会〉

鈴木部会長より、次の報告がなされた。

- ・東京地方裁判所から依頼のあった民事調停委員の候補者推薦について、次のとおり推薦を行った。再任の70歳以上の方については、先方より再任可、再任不可の指定があり、75歳以上は不可と示された。また、新任について年齢順に打診したところ、多忙を理由にお断りする方が複数おり、どうにか50歳代前半3名・40歳代1名を推薦することができたが、来年度以降の推薦依頼に備えて、会員を増やしておく必要がある。

所属庁：東京地方裁判所 再任10名、新任4名

東京簡易裁判所 再任1名

町田簡易裁判所 適任者なし

〈調査研究部会〉

荻谷部会長より、次の報告がなされた。

- ・資料3「判決文、鑑定文書の開示要望について」を受けて、最高裁民事局より懇談の要望があり、緑川運営委員長と7月10日に民事局・南宏幸参事官と金森陽介局付を訪れ、司法支援建築会議の設立目的等を説明した。また、本会議が学会の社会貢献の大きな柱と位置付けられていて、今後、活動の成果を一般社会に還元する使命があり、本会議としては裁判の数が減れば好ましいことを伝え、判決文・鑑定文書の開示を要望した。
- ・その結果、司法支援建築会議で学会所属の鑑定委員が関わった判例を5件程度選択し、その判決文書を提供いただき、当該鑑定委員と共に分析を行い、その結果を事例として学会ホームページで公表できないか、民事局で検討いただくこととなった。
- ・その後、10月12日に民事局より、「できるだけ早く検討結果をお伝えしたいが、個人情報等の取扱い等で慎重な検討を要する」と、まだ時間がかかる旨の連絡があった。懇談の際に「年内には」と話されていたので、うまくいけば年内に返答。

〈普及・交流部会〉

井上部会長より、次の報告がなされた。

- (1) 会報第19号を発行したが、校正段階で事務局より普及・交流部会委員へ校正が回されなかったため、次回から部会委員へも確認するよう注意がなされた。
- (2) 中止にした建築紛争フォーラム「住宅の建築紛争事例に見る専門家の説明責任」を何らかのかたちで開催していきたいが、ある程度の人数が集まらないと開催できない。2021年度は東海支部主催で大会会場（名古屋）にて開催予定だが、大会自体が遠隔開催になる可能性があるため詳細は未定。
- (3) 本年秋に予定していた近畿支部主催の建築紛争に関わる講演会「建築紛争の現状と課題（その6）—大阪地方裁判所における建築裁判から—」は延期というかたちで2021年度開催として企画を進めてもらっている。

審議事項

1. 名誉司法会員称号授与・功労者表彰・感謝状贈呈スケジュール

事務局より、標記スケジュールについて説明がなされ、全体会議の日程を5月17日（月）に決定した。

- ・2021年名誉司法会員・功労者表彰・感謝状贈呈選考委員会を次の方々をお願いすることとした。

委員長：緑川光正（運営委員長／建築研究所）

委員：上谷宏二（元・運営委員長／摂南大学）

大森文彦（運営委員／大森法律事務所）

小野徹郎（元・運営委員長／名古屋工業大学名誉教授）

仙田 満（元・運営委員長／環境デザイン研究所）

- ・全体会議シンポジウムの企画を普及・交流部会に一任することとした。普及・交流部会では、中止となった建築紛争フォーラムの時間配分等を調整し、同一のテーマを扱えないか検討いただく。状況によってはオンラインと対面のハイブリッド開催とすることも視野に入れる。『建築雑誌』3月号に予告を掲載するためには1月末に告知文を入稿しないといけないので、2月の次回運営委員会以前にメールにて運営委員会メンバーで審議する。
- ・資料8「司法支援建築会議全体会議シンポジウムテーマ一覧」に誤りがあり、次のとおり訂正した。

[正] 2015年5月8日(金) 14:30～17:30

「修補工事見積もり方法検討報告書」報告会

2. 「司法支援建築会議」会員候補者の推薦依頼について

事務局より、2017年同様、理事・支部長・常置調査研究委員会委員長宛に「司法支援建築会議」会員候補者の推薦依頼を行うべきかどうかの確認があった。

鈴木支援部会長より、例年の流れを鑑みると来年度は多くの調停委員の推薦を求められる可能性があり、このタイミングで会員を増やす必要がある旨、説明がなされ、11月理事会へ提出し、別途依頼状をお送りすることとした。

また、理事・支部長・常置調査研究委員会委員長宛に依頼をした結果をみて、さらに増やす必要がある場合は、鑑定人・調停委員経験者へ推薦依頼をすることとした。

なお、通常は推薦者が2名必要だが、今回のように依頼した場合は、慣例でもう一人を運営委員長としている。

3. 部会委員の委嘱・解嘱

次の解嘱手続きを進めることとした。

- ・運営委員会： ご本人より退任の申し出があり、榊田佳寛委員解嘱。
後任は材料施工委員会委員長・橘高義典先生へ選出いただく。

4. 会議会員の入会・退会

次の入会を承認した（理事会11/17）。

- ・入会： 関東地区 上垣内伸一（(有)ウエガイト建築設計事務所 代表取締役）
- ・逝去： 東北地区 小野瀬順一

次回： 日程調整の結果、2021年2月24日（水）14:00-16:00

以上